

かまし そうだんまどぐち  
嘉麻市の相談窓口

■おうちのなかで

- 少しの間でも、じっとしてられない
- ことばがなかなか出ない（増えない）
- 同じ服しか着たがらない



■集団のなかで

- おともだちと楽しんで遊ばず、いつもひとりでいる
- おともだちや先生との会話が成り立たない（一方的に話す）
- 毎日同じスケジュールでも覚えられず、どう動いていいのかわからないことがある

■遊びのなかで

- 手をつなぐことや抱っこを嫌がる
- 積み木などを1列にならべたり、扇風機やタイヤなどを回転するものをじっと見たりなどをくりかえし、なかなかやめられない



このようなことで「困っている」「不安になり

心配」「発達障がいかな？」と思われるとき

は、各機関に相談することができます。

※以上のようなことがあったとしても、必ずしも発達障がいだというわけではありませんが、困っていたり、生活に支障がでてしまったりしている場合は、市の相談窓口にご相談してみてください。

どこに相談したらいいか、まよったら・・・

嘉麻市子育て総合支援センターへ

子育てや教育に関することで困っていることがあれば、嘉麻市子育て総合支援センターにご相談ください。

【嘉麻市子育て総合支援センター連絡先】

- ☎0948-62-5715 子育て支援課 母子保健係
- ☎0948-62-5716 子育て支援課 発達相談支援係
- ☎0948-62-5717 子育て支援課 家庭・教育相談支援係

■お子さんの育ちや発達の遅れが気になる

- なかなか歩かない
- 視線が合わない
- 少しの間もじっとしていない
- ことばがなかなか出ない など

子育て支援課  
母子保健係（碓井支所） … ☎0948-62-5715  
発達相談支援係（碓井支所） … ☎0948-62-5716

■お子さんの発達について相談したい

- お子さんの発達に不安があるなど、コーディネーション理論の荒木秀夫名誉教授による「こどもクリニック」です。  
※不定期での開催になります。

スポーツ推進課  
プロジェクトK・スポーツ推進係（碓井支所）  
… ☎0948-62-5730

■小学校(義務教育学校)入学にむけて相談したい

- 小学校(義務教育学校)に入学するけど発達に不安がある
- 特別支援学級や特別支援学校について知りたい
- 入学する学校の特別支援学級を見学してみたい など

子育て支援課 家庭・教育相談支援係（碓井支所）  
… ☎0948-62-5733（専用ダイヤル）

■通所支援(児童発達支援)などの福祉サービス利用の相談

- 障がい者手帳について知りたい
- どんな福祉サービスがあるのか知りたい など

社会福祉課 障がい者福祉係（本庁舎）  
… ☎0948-42-7458

発達障がい全般に関する相談

福岡県発達障がい者支援センター ゆう・もあ  
田川市夏吉4205-7

☎0947-46-9505

福岡県の相談窓口

お子さんの発達で  
気になることや心配なことについて

相談できます！！



お子さんの「行動」や「特性」で  
気になることがあれば、市の  
相談窓口や各機関にご相談ください。

嘉麻市発達支援連携協議会

お子さんの困っていることに

気づく

お子さんの特性を

理解する

お子さんの特性にあわせて

対応を工夫する

お子さんの「安心」「自信」「自己肯定感」「家族や他人への信頼感」へ

保護者だけでなく、まわりの方がこのような特性について理解していただき、そのお子さんの特性にあわせて対応を工夫されることで、お子さんの「安心」「自信」「自己肯定感」「家族や他人への信頼感」などにつながります。

発達障がいとは、脳機能の発達が関係する生まれつきの障がいで、対人関係や行動のコントロール、集団生活や学校での授業など生活に支障が生じる状態のことをいいます。

発達障がいは、病気ではありませんが、保育所（園）や幼稚園に通い始めると、さまざまな問題に直面することがあります。発達障がいのある子どもが健やかに成長するためには、発達障がいを早期に発見し、特性への理解を深め、適切な療育を行ったり、環境を整えたりすることが重要です。

気づく



■早めに気づくことが大切です

お子さんの特性から、育てづらさを感じることもあるかもしれません。また、お子さんが保育所（園）や幼稚園に通い始めると、さまざまな問題に直面するかもしれません。早めにお子さんの困っていることに気づいてあげることが大切です。

理解する



■本人の特性や気持ちを理解する

発達障がいの子は、同じ失敗を繰り返してしまうことや、気になる行動がなおらないことから「わがまま」とか「努力がたりない」などと思われてしまいます。困った行動があっても「わざと」とか「ふざけている」と思わず、お子さんなりの理由が何かあることに、目を向けてみましょう。

対応を工夫する



■今できていることをほめて、自信をつける



■ルールや予定をわかりやすくイラストなどで示す



■落ち着ける場を用意する



■むやみにしからずに、できるように工夫する



お子さんの特性で、気になることがあれば、自分一人で解決しようとせず、市の相談窓口や専門機関に相談してください。